

2009.4.1 第23号

発行所 群馬県立高崎女子高校 同窓会 高崎市稲荷町20 電話(027)362-2585 発行責任者 吉村 晴子 印刷所 ほその印刷

同窓会報

椎の樹

わたしたちの同窓生

《母校創立110周年》

会員数 31,196名

平成21年4月1日 現在



未来につなぐ

同窓会長 吉村 晴子

同窓会の皆様お健やかにて平成21年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年母校は創立百十周年を迎えます。5月1日には音楽センターに於いて記念式典と講演会が開催されます。

思い起こせば平成11年の百周年には多彩な行事が行われました。あれから10年を経た節目の年にあたり、あの熱気と感激を再びと記念行事を企画いたしました。

記念行事実行にあたっては各委員、会員の皆様の誠実なご協力のものと、立派に行われるものと思っております。同窓会は高女の精神を確実に受け継ぎ、次代につなげてゆくよう活動してまいります。母校の限りない発展とご活躍を祈念いたします。

同窓会総会

平成20年5月1日 母校椎樹館



今年も多数の会員の方々と学校長をはじめとすご来賓にご出席いただき、高女同窓会総会が開催されました。

19年度事業報告、会計報告の後推薦委員の村田様より役員改選の提案があり、提案通り役員皆様の留任が決まりました。そして20年度の事業計画や予算案が提案され、承認されました。

名簿発行のお知らせ

この度、母校創立百十周年記念事業の一つとして、同窓会名簿を発行する事になりました。節目の年に当たりまして、今回、次の2点を変更いたします。

次に高〇回と記します。例えば、平成21年3月の卒業生は第108期(高校第61回)となります。第二に、会員数も3万人を越え、名簿も厚くなりましたので、A4版2列表記に改定いたします。

平成21年度 同窓会総会及び高女創立110周年記念式典・講演会のお知らせ
●開催日 5月1日(金)
●場所 群馬音楽センター
\*総会 10:00より<第一会議室>
出席希望の方は4/19までに問い合わせ先の中山さんに電話でお申し込みください。
参加費・昼食代500円(当日お支払)
\*式典 13:00より
\*講演会 講師 加藤 千洋先生 朝日新聞編集委員
演題 「世界の中のアジア・アジアの中の日本」

同窓会入会式

入会のことば

野の花がほころぶ陽だまりに、春のにおいを感じるこの佳き日、私たち318名は先程無事に卒業式を終えることができました。

す。未熟な私たちですが、常に高女同窓会員としての自覚を持ち、高女の発展に貢献できるよう、それぞれが希望に満ちた未来を歩んでいきます。

「心の危機」テーマに、事故、災害、戦争、医療などについてドキュメントや評論を執筆されている。最近、言葉や心の問題についても積極的



読むこと 生きること

校長 飯野 眞幸

前勤務していた総合教育センターでお会いし、それが縁で教育雑誌の対談や講演会で何度もお世話になった。1年半前、柳田氏に高女生への講

長く行政や音楽に関わってきたこともあり、いわゆる有名人とされる方々にも沢山お会いした。どちらかというと、メディアを通じての印象と実際に会った時の印象が異なる人の方が多かったが、全く変わらない人もいた。その中のお一人にノンフィクション作家の柳田邦男氏がいる。

当日は、午前中、本校の図書館で生徒達との交流会、その後、音楽センターでの講演となった。約2時間、柳田氏は立ちっぱなしで生徒達に「読むことと生きること」という演題で語りかけた。



Table with 4 columns: Date, Time, Event/Venue, Contact Person. It lists various events from May 1st to April 1st, including the general meeting, graduation ceremony, and various exhibitions.

\* 110周年記念事業の詳細は2面をご覧ください。 <次年度の当番期は高34回です>

同窓会役員の変更について

平成20年度同窓会総会において、会則第6条と8条に則り、左記の方々が承認されました。(任期2年)

Table with columns for position (e.g., 会長, 副会長), name, and grade (e.g., 高3, 高14).

2008年度 総会記念講演

「ユダヤ人とユダヤ教」を聴いて

講師 丸幾三先生



高32 落合康美 昨年の記念講演の後、「パレスチナ問題について」という希望があったため再度丸幾先生にお願いしました。今回はユダヤ人の歴史からみたパレスチナ問題という事で、左の内容でお話ししていただきました。

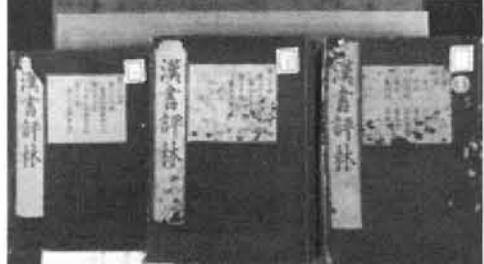
松樹館だより

図書部 荒井充夫

校門を入ってすぐ右手にある松樹館には数多くの貴重な資料が展示・保管されています。入口脇の収蔵庫には、資料室に展示されていない未整理の千冊余りを時代別に見ますと江戸時代のものが最も多く、次に明治、そして大正、昭和と続きます。内容は哲学・歴史・文学・教科書等の教育関係を中心として、言語・

稚の小径

湖に青沈めカナダの秋高し 冬帽の出番氷河の上に立つ 太古より目覚め氷河の水澄める 高15 温井 公子



この『漢書評林』は、唐代の顔師古という人が『漢書』の注釈・説明を付けたものを基にして、明の時代の凌稚隆という学者が著した書物です。中国では、明の万暦11年(1583)に印刷刊行されています。わが国での印刷本としては、約50年後の寛永5

平成21年度 高女同窓会 親睦旅行へのお誘い 高女創立110周年記念旅行 「今日に引き継がれる伝統に触れる」 ～歌舞伎鑑賞と同窓会親睦パーティー～

高女創立110周年記念同窓会事業 同窓会の記念行事として、 ☆展覧会：平成21年12月4日(金)～9日(水) ☆演奏会：平成21年12月5日(土)・6日(日) ☆旅行：平成21年10月6日(火)を開催いたします。

アラブ人達は土地を追われ、キャンプ生活や難民となり、今日まで国家をもてない状況にある。そのため4次にわたる中東戦争があり現在でも紛争が継続している。先生の講演を伺って現在のパレスチナ問題は深い歴史的背景がある。

Table with columns: 部門 (Department), 会場 (Venue), 期 (Date), 責任者 (Responsible Person), 会期 (Event Date).



# 同窓会だより

## 高女同窓会旅行に参加して

高33 中野由香里  
初秋の朝、さわやかな空気に包まれて、同窓生の皆様と楽しみにしていた旅行が始まりました。例年、見学先とお

## 京浜同窓会

### 京浜同窓会の歩み

会長 高3 鈴木令子  
高女創立百十周年の記念すべき年に当たり、京浜同窓会の歩みの一端を述べてみます。

昭和31年5月、同窓会東京支部が組織され、近藤すみ(女1)が支部長になり、毎年母の日に支部会開催と定められていました。

昭和60年5月、京浜同窓会と改称現在に到っています。歴代の会長は左記の通り

- 近藤 すみ 女1 明35年卒
  - 重川 松子 女32 昭8年卒
  - 小池美登子 女36 昭12年卒
  - 林 和江 女43 昭19年卒
- 副会長が2、4名補佐に当

いい食事、また当番期の幹事の方々の心配りが素晴らしい。ゆつたりとしたバリフリーのバスに驚きつつ、一路都心へと向かいました。

初めての国立新美術館では、話題となっていた建物の外観や、有名なピカソ展など、大変興味を持って見学させていただきました。森の中の美術館のコンセプトどおり、都会の中とは思えないほど喧騒を忘れさせる雰囲気、偉大なピカソの作品展をさらに味わい深いものにしていく感がありました。

ランチは、評判のレストラン「ベニール・ベニール」で、洗練されたイタリアンをおいしく楽しむことができました。旧友との語らいも弾

み、時間があつという間に過ぎたひとときでした。表参道での散策は、新しい若者の街の中で年齢も忘れ、人の波に紛れ、都会の人になつた気分でした。表参道ビルズは、おしゃれなショップがたくさん並んでいて、見て

ただきましました。「森の中の美術館」のコンセプトどおり、都会の中とは思えないほど喧騒を忘れさせる雰囲気、偉大なピカソの作品展をさらに味わい深いものにしていく感がありました。ランチは、評判のレストラン「ベニール・ベニール」で、洗練されたイタリアンをおいしく楽しむことができました。旧友との語らいも弾

## 新年会

### 高32 狩野君江

2月11日午前11時、高崎ビューホテル「あかぎの間」は東野珠実さん(高37)の奏でる笙の雅な音色に包まれました。参集した約三百名の同窓会員は、平安朝の雅楽奏者さながらの衣装を纏った東野さんの多彩なお話にも熱心に耳を傾けました。古典曲「双調調子」、東野さん作曲の「伊吹」に引き続き、詩集『目覚める寸前より』から「魚の骨」のデュオ曲を、東野さんと幼なじみのソプラノ歌手本島阿佐子さん(高37)と披露していただきました。本島さんの澄んだ歌声と笙とのコラボレーションに魅了されました。新年にふさわしい心染み入る演奏後、吉村晴子同窓会長のご挨拶で開式、続いて飯野眞幸校長先生からご祝辞をいただきました。今年は高女百十周年にあたり、様々な行

りました。時代によりご苦労があつたことと推察します。この会は当番学年の引継ぎのおかげで存続しています。心より感謝申し上げます。会則の一部を載せてみます。

第1条 本会の名称を高女京浜同窓会と称します。

第2条 本会の会員は、群馬県立高崎高等学校及び、高崎女子高等学校の卒業生で、東京とその周辺の県に在住する者をもって構成する。

第3条 本会の目的は会員相互の旧情を温め、親睦を深めるため、年一回開催する。人との関わり方が難しいこの頃ですが、会に出席し、発展する母校、活躍する後輩を知り、思い出を懐かしみ、卒業生としての誇りを改めて感じることができるよう。



高33 町田麻子  
6月29日新宿京王プラザホテル42階高尾の間に、第57回高女京浜同窓会が開催されました。あいにくの曇り空でしたが、雲海に包まれ別世界の様でした。会場は、母校同窓会からのご来賓の皆様、恩師107名の同窓生が集い、笑顔一杯の温かい雰囲気になりました。

京浜同窓会の鈴木会長は

- 平成21年度京浜同窓会
- 7月21日(日)12時
- 新宿ハイアットリージェンシー
- 連絡先・高34 谷島比呂美

## コール椎樹のあゆみ

### 高24 須藤静子

平成4年9月29日、故斎藤民先生、橋本節子先生を始め、40余名の同窓生が母校体育館に集い、「高女同窓会合唱団」が誕生いたしました。

そして平成11年5月16日、高女創立百周年の名に相応しく、団員100名を超える合唱の和を披露することができました。学生時代の思い出を胸に団員一同、心を込めて歌いました。

翌年より5年間、団長故斎藤民先生の「発表する場が欲しい」との思いもあり、高崎市民音楽祭の『みんなで歌いましょう』に出演させて頂きました。名称を「高女同窓会コール椎樹」と改めた平成18年には、『斎藤民追悼演奏会』にてモーツァルトの「レクイ



## 期別同窓会

### 女45 奥村政子

私達の時代は、お国の為に頑張ってきた敗戦を迎え、翌年3月に巣立ちました。

卒業後は同期会の会長、幹事に恵まれ、大変お世話になってきました。年が明けると村田会長直筆の今年の行事予定やその他のお知らせが届きますが、嬉しいものです。

そして高崎での初顔合わせ、食事会、秋には全国名所を訪れる楽しい親睦旅行を、永い間続けてきました。年を重ねると、県内の温泉地へゆつくりおしゃべりをしようと、去年も秋に伊香保へ参りました。友達ついでにいいものですね。会えばすぐ昔に戻り、話しは尽きず、そして明日への活力を頂きます。

和気藹々の宴会の最後は、いつものように校歌を合唱し、母校の発展を祈りました。

翌日は富岡製糸所を見学。その後賑やかに美味しい昼食を頂き、高崎駅にて再会を約束しました。

平成20年度は、本島阿佐子先生と金井美奈子先生をお迎えして、楽しく勉強させて頂きました。

恒例の新年会、12月に開催予定の百十周年記念演奏会には、17年間の集大成として、更に磨きのかかった歌声をお聴かせすることができると思っています。歌が大好きな方も、歌が大好きになりたい方も是非おいでください。

毎月第2日曜日  
午前10時より  
椎樹館1階和室にて

してお別れをしました。お陰様にて私達は、今春八十路を迎えることができました。

## 最後の六月会

### 高3 渡辺淳子

平成20年5月28日、霧雨けむる高崎駅東口前には、久しぶりに見るなつかしい顔が、もう集ってしまいました。

昭和20年春、戦況の悪化を想像だにせず、合格の喜びを胸に抱き高崎女学校へ入学しました。空襲が激しく、遂には校舎も爆弾を受けてしまいました。空襲下での後片付け、近隣農家への勤労奉仕。そして敗戦、学制改革による附設中を経て貴重な体験の6年間を過ごした私たちも、75歳になりました。

6月なら他の諸行事と重なりにくい事と在学6年の6をかけ名付けられた六月会も今回最後の旅となりました。

幹事さんの計らいで、上越の山野を微妙な色調で織りなす若葉と、時々見せる乳白色の山ぼうしや、柄の花のやさしさ、予期せぬ蓮池附近の水芭蕉の美しさにも触れました。改めて上州の美しさを知りました。『雪国』の宿も見学。宿の猿ヶ京ホテルでは、参加者44名皆元気で席に着きました。有志による歌やフラダンスの披露もあり、賑やかに語り合う姿はあの頃の少女たちでした。最後に全員で万感こめて校歌を合唱しました。

28・29日の最後の旅も終わり記念品の校歌のCDを頂いて、お互いの無事と再会ある事を祈り帰途につきました。

高19 武井治子  
平成20年10月18日の夕べ、ホテルメトロポリタン高崎にて15年ぶりの同期会を開催しました。久保田浩司・合田康郎・石井次男各先生がご参加くださり107名の元気な仲間が集いました。網島千栄子実行委員長挨拶の後、先生方の饗饌としたお姿と味わい深いお話に皆から大拍手。そしてアトラクションとして在校当時の写真が、大きなスクリーンに映し出されると一気に思い出が蘇ります。各テーブルでの会話に留まらず、あちこちに挨拶の輪が出来ていきます。皆の瞳がキラキラ。私達は生まれた時からベビーブーマー、すし詰め教育、団塊の世代等と言われ、受験、就職、結婚、仕事とがむしゃらに生きてきました。60年。現在の己の姿は客観的にはどんなもの？会場を見渡すと同時代を生きた若々しい顔々がありました。何か温かいものが湧き上がり、また明日から頑張ろうと思えました。校歌を全員で元気に歌い、還暦記念同期会を閉じました。

## 高33期 同窓会

### 高33 中山芳子

平成20年9月6日、高崎市役所21階コートカフェにて、昭和56年卒業以来初めての期別同窓会を開き、69名の方々が集りました。初めは誰が来ているだろうか顔や名前が分かるだろうかと皆さん不安な様子でした。変わらぬ姿を見て再会を喜び合う明るい声で、賑やかな雰囲気になりました。仕事・子育て・介護等近況を報告したり、高校時代の思い出話に花を咲かせたり、写真撮り合ったりして、あつという間の2時間でした。最後に校歌を歌いました。

突然だったにもかかわらず美しい歌声が会場に満ち、皆で歌える素晴らしい校歌があることと、良き友に恵まれた幸せを実感しました。

次回の同窓会での再会を約束し、束の間になりましたが、旧交を温め、皆さんの活躍に刺激を受け、また頑張っていこうと、明日への活力を得た日となりました。

### 母校の近況

#### ●7年ぶりの快挙!!

伝統ある新体操部ですが、このところ団体種目での優勝からは遠ざかっていました。どんなに力のある生徒がいても、団体の演技として完成度が高くなければ高得点にはつながりません。ましてや今年のチームは3年生不在、2年生1人。主力は入部したての1年生です。上級生主



力の他校と互角に渡り合うため、チームとしていかに美しく力強くしなやかに演技するか。結果は…高校総体団体種目優勝! さらに新人大会でも団体種目優勝を果たしました。この久しぶりの栄冠に校内は沸き、来年度は新体操部に負けじと活躍する部も増えそうです。

#### ●地学部をはじめ3部が受賞!

第56回群馬県理科研究発表会にて地学部が最優秀賞、化学部・生物部が優秀賞を受賞しました。理科系の部活動は部員こそ少ないのですが、積極的に研



究発表会に参加し多くの成果を残しています。地学部は「雷雲」の地域独特の動き、生物部は「セイロンベンケイソウ」を研究しており、日本学生科学賞群馬県審査で奨励賞を受賞しています。群馬県のSSH成果発表会ではプレゼンテーションやポスターセッションを行い、高い評価を得ました。今後はSSH活動との連携を促進し、かつての理科研究熱を再燃させるべく研究に励みます。

#### ●主な部活動実績 (平成21年3月23日現在)

- 《運動部》○県総体準優勝
- ・全国大会出場
  - ・山岳部 (3年連続総体優勝) インターハイへ
  - ・陸上部 インターハイへ1種目出場 東日本女子駅伝へ1名出場
- 《文化部》
- 全国レベルでの受賞等
  - ・書道部 全国学生書道展 全国準優勝 全日本書道連盟賞 毎日新聞社賞
  - ・文芸部 全国高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門 優良賞
  - ・放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門 朗読部門 創作ラジオドラマ部門 出場
  - ・マンドリン部 全国高校ギター・マンドリンフェスティバル優勝 (大阪市長賞)
- 第32回 全国高等学校総合文化祭 群馬県大会開催!
- 平成20年、夏。群馬の地に各都道府県の代表生徒が結集して、『文化部のインターハイ』とも言われる「全国総文祭」が開催されました。本校からも多くの生徒が群馬県の代表として、また実行委員やスタッフとして大会成功に尽力しました。
- 〈県代表〉音楽部 新聞部 文芸部 放送部 マンドリン部 弁論部

#### ●平成20年度大学合格数 現役+過年度卒( )内 3月26日現在

【国立大】		【公立大】		【私立大】	
北海道大	4(1)	京都大	1	慶應義塾大	10(1)
東北大	11	大阪大	1(1)	国際基督教大	2(2)
筑波大	7(1)	神戸大	1	上智大	6(3)
群馬大	45(1)	(その他)	13(2)	中央大	33(6)
埼玉大	4	合計	127(9)	津田塾大	7
千葉大	3			東京女子大	14(1)
お茶の水女子大	6	【公立大】		東京薬科大	3(2)
東京大	2	群馬県立女子大	8	東京理科大	25(2)
東京外国語大	2	高崎経済大	16	日本女子大	27(4)
東京学芸大	8	首都大学東京	3	法政大	21(4)
東京芸大	1(1)	横浜市立大	2	明治大	45(10)
東京工業大	1	(その他)	13(1)	明治薬科大	2
横浜国立大	2	合計	42(1)	立教大	25(8)
新潟大	5	【私立大】		早稲田大	23(5)
金沢大	2	青山学院大	11(1)	同志社大	5(1)
信州大	6(2)	北里大	12(2)	立命館大	12
名古屋大	2	学習院大	4(1)	(その他)	368(42)
				合計	655(95)



高28 設楽静子

#### 旧陸軍登戸研究所見学

登戸研究所とは、1937年(昭和12年)生田村(現在の川崎市多摩区東三田)につくられた陸軍化学研究所の巨大な秘密実験場が始まりで、正式名称は「第九陸軍技術研究所」でした。

私は、2007年に初めて見学会に行った時、初めて知る歴史の事実に驚くばかりでした。直後に参考文を読むなどして関心が深まっていたところ、翌2008年3月末に登戸研究所のパンフレットが発行されました。

各地で行われていたようですが、なぜ高崎高女のこと載っているのかと保存会の方に尋ねると、参考文献である吉野興一著の『風船爆弾』(2000年朝日新聞社)の中に高崎高女に関する記述があるので校名が出たのではないかとのことでした。

そこで、同窓会にパンフレットを添えて手紙でお知らせしたところ、6月28日に高女の大先輩でいらつしやる村田喜代子さんと登戸研究所の見学会に参加させていただくこととなりました。

村田さんは、戦時中風船の原紙作りをさせられていた女学生の一人でした。見学コースでも皆さんの前で「空つ風が吹く中、素手で和紙にこんなやくのりをこすりつけた」という話をされ、体験者しか語れない貴重なお話が聴けて本当に有意義でした。

また、村田さんは戦時中自分たちがやっていた事が、登戸研究所と関係があったとは全く知らなかったそうです。登戸研究所に勤務していた人

### 北から南から

◇女32 村松貞子(横浜市)

今年の正月で91歳を迎えました。ここ数年は寝たきり状態で、息子夫婦に介護の世話を受け何とか生きています。同級生はどうなさっているか気がかりです。

◇女33 高橋ギン(高崎市)

週2回デイサービスへ行っています。元気です。

◇女34 丸山典子(高崎市)

瑞宝双光章(教育功労)

高9 吉野烈子(調停委員)

藍綬褒章(調停委員)

#### 顕彰

達も、当時自分の家族にさえも、研究所で行われていた事を一切話せなかったという事です。

今回登戸のことがきっかけで、村田さんに出会い一緒に見学会にまで行けて、とてもうれしかったです。

◇女42 染谷悦子(高崎市)

「椎の樹」から『朝夕まどに』を思い開きました。資料集めに母校を何回か訪問し、あれから55年、執筆。あれから10年経ちました。傘寿すぎた現在あの時の気力はありませんが、あの頃の気力はあざやかに蘇り、会報・百年誌等母校からの新旧の記録は誠に嬉しく有難いです。

◇女44 関根フサ子(横浜市)

校歌のCDを誠に有難うございました。一生の宝物です。なつかしく、さわやかな心で一緒に歌って居ります。この4月に傘寿を迎えました。まだまだお役に立ちたいです。

◇女45 加藤武子(高崎市)

後期高齢者ですが、レクダンスや長寿会の役員を元気で頑張っています。

◇高10 角田由貴子(前橋市)

校歌CD2枚購入させていただきました。1枚は横浜に住む先輩にプレゼント。曲に乗せられ流れ出てくることばは言葉と化して魂に響き涙が

とまらなかつたそうです。私も同感! 製作していただいてありがとうございます。

◇高14 板垣みどり(練馬区)

地球的単位で考えさせられるようになったこの時代。榛名山から眺めた夜景の美しさが、学齢をすぎた時代と重なって思い出されるのは何の力かしら...と考へさせられる輪となりました。...半世紀たったのですね。

◇高16 瓢 敬子(京都市)

古い椎樹と会報「椎の樹」は、私の心のふる里そのものです。

◇高18 北村やさか(長野市)

1年に1度の会報を毎回楽しく感謝しつつ読ませて頂いております。時代は変わりますが、母校を愛する皆様の心がにじみ出ており、高女時代をなつかしく思い出します。キリスト教会の牧師である主人と伝導に励んでおります。

◇高22 植木裕美(府中市)

卒業以来まもなく40年になります。いつもなつかしく会報を読ませていただいております。東京から帰省する車中

から眺める上毛の山々、その風景のすばらしさに改めて気づくようになりました。

◇高25 住吉和子(川崎市)

ソプラノとして演奏活動をしております。一昨年のCD製作につづき、今年3月にはニューヨーク・カーネギーホールにて演奏する機会を得て歌って参りました。

◇高30 北村知子(佐久市)

中学生に理科の楽しさを教えるべく、日々あの手この手でまわっています。

◇高31 落合初美(富士見市)

最近のTV報道の中で、「硫化水素ガス」を使い自らの命を断つといった事実を知りました。決して忘れることのできない、30年以上前の事故の様子が反射的によみがえり、大変悲しい思いをいたしました。自分への問いかけがずっと心の底にはりついていたまま、時間ばかり過ぎていきました。が記憶は消えていきません。2人の我が子に当時を話して聞かせ、人の命の尊さを伝えていきたいと思っております。

◇高42 西寿美代(札幌市)

### 校歌 CD



同窓生の善意の輪

14年間勤めた教員を辞め、まだ幼い3人の我が子とじっくり向きあう時間が持てるようになりまし。これからは今までは違う立場で社会貢献していかうと思っております。

お祝いの気持ちこめて、同窓会も紙上御案内の通り、記念事業を計画し準備を進めております。

歴史をふりかえり、母校の発展と充実を祈り、一緒に喜びをわかちあいましよう。ご参加、あるいは「椎の樹」宛ひとことお寄せ下さることなどお待ちしています。

一世紀を越える年月の間、校長先生はじめ先生方の御指導のもとで残された確かな足跡、そして、脈々と受けつがれている校風は、激動の世の中にあつて、変わらぬものでありつづけることを願っています。

◆昨秋、校長先生より文化講演会の案内をいただき、「言葉の力、生きる力」と題する柳田邦男先生の講演を聴かせていただきました。先生は高女生のお孫さんをお持ちのこと、同年代の生徒にあたたかく語りかけておられる一つ一つのお言葉が胸にしみしました。

同窓会に集い「言葉」をかわしあう中でいただいていたなごやかさ、思いやりの心、生きる力に改めて感謝し、言葉の持つ大切な役割、ひとことへの重さを考えています。

編集委員長 高9 吉野烈子

◆明治32年5月1日、私達の母校は、県内初の県立女学校として開校しました。創立百周年 おめでとうございます。

お祝いの気持ちこめて、同窓会も紙上御案内の通り、記念事業を計画し準備を進めております。

歴史をふりかえり、母校の発展と充実を祈り、一緒に喜びをわかちあいましよう。ご参加、あるいは「椎の樹」宛ひとことお寄せ下さることなどお待ちしています。

一世紀を越える年月の間、校長先生はじめ先生方の御指導のもとで残された確かな足跡、そして、脈々と受けつがれている校風は、激動の世の中にあつて、変わらぬものでありつづけることを願っています。

◆昨秋、校長先生より文化講演会の案内をいただき、「言葉の力、生きる力」と題する柳田邦男先生の講演を聴かせていただきました。先生は高女生のお孫さんをお持ちのこと、同年代の生徒にあたたかく語りかけておられる一つ一つのお言葉が胸にしみしました。

同窓会に集い「言葉」をかわしあう中でいただいていたなごやかさ、思いやりの心、生きる力に改めて感謝し、言葉の持つ大切な役割、ひとことへの重さを考えています。

編集委員長 高9 吉野烈子

- 編集委員会
- 高5 吉村晴子・高9 吉野烈子
  - 高14 海老原洋子・高20 大川悦子
  - 高43 関根みどり・高46 吉村節子
  - 高3 金井幸子・高4 岡田俊子
  - 高19 武井治子・高20 齊藤信子
  - 高22 田中和子・高23 福田和子
  - 高25 林いづみ・高26 広瀬節子
  - 高27 冬木嘉子・高28 羽鳥康子
  - 高32 狩野君江・高32 山本友子
  - 高33 北村久美子・高33 志村節子
  - 事務局 高41 浅香美鈴
  - 高42 阿部美香

